

忘れてはならない、1945年7月28日の夜。
青森は一瞬にして炎に包まれた。



生きていたはずの多くの命が失われた…

それでも人々は明日の未来のために
立ち上がった。



他にも市中心部のいろいろな場所を歩いていきます

青森製氷株式会社

この工場は1920年に
建てられ、今も現役で
稼働している。
空襲の際、木造の屋根
は焼け落ちたが、壁部
分は石造りで焼け残っ
た。戦後、屋根を張り
替えて、すぐに工場を
稼働させたという。



蓮心寺の大イチョウ



空襲で町のなかの建
物のほとんどが焼失
したなかでこの大銀
杏は生き残った。
炎のなかで立ち続
けた大銀杏の元に人
々が避難し、命を取
り止めたという証言
もあるという。

カトリック本町教会の煉瓦塀



カトリック教会の教
会の壁で建物そのも
のは焼けてしまって
新たに立て直したも
のだが、レンガの壁
は部分的に焼け残っ
た。焼け落ちた部分
も繋ぎ合わせて、保
存しているという。

蓮華寺

戦後、接収され3年
ほど市役所としても
使用された。蓮華寺
は明治時代の1910年
の青森大火で焼けて
しまったため、鉄筋
コンクリート製の本
堂を建てた。



青森空襲を“知る”ことが、私たちの力になる。
二度と戦争を繰り返さないために。